

令和4年度 第2回 江南区自治協議会

日時：令和4年5月26日（木）午後1時30分～

会場：江南区役所3階 302会議室

1. 開会

○土田地域総務課長補佐

本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。定刻になりましたので令和4年度第2回江南区自治協議会を開催させていただきます。

当会議につきましては公開することとし、記録作成のため録音及び撮影をさせていただきますのでご承知おきください。なお、本日の会議は取材のため報道機関が入っておりますので併せてご承知おきください。

資料の確認をお願いします。

(資料確認)

○土田地域総務課長補佐

本日の会議について、石井委員、堀川委員から欠席のご報告をいただいております。

2. 会長あいさつ

○土田地域総務課長補佐

それでは、開会に伴いまして、はじめに、小林会長からご挨拶お願いいたします。

(会長あいさつ)

3. 議題

(1) 江南区組織目標および江南区区ビジョンまちづくり計画実施計画について

○事務局

次に議題に入りますが、ここからの進行は小林会長にお願いいたします。
よろしく申し上げます。

○小林会長

それでは、次第に沿って進めていきたいと思っております。いつものことですが、

ご意見、ご質問のある方は挙手のうえ、簡潔明瞭にお願いしたいと思います。
よろしくお願いいたします。

まず、はじめに、江南区組織目標および区ビジョンまちづくり計画につき
まして、坂井区長から説明をお願いいたします。

○坂井区長

皆さんこんにちは。暑い中、大変お疲れさまです。市役所でも5月1日からクールビズが始まっておりまして、職員も軽装で失礼させていただきます。どうぞ、皆様も暑いと思いますので、適宜ジャケットなどをお脱ぎいただいて、クールビズでお願いできればと思いますのでよろしくお願いいたします。

では、議題(1)、江南区組織目標および江南区区ビジョンまちづくり計画
実施計画について、お配りしました資料をもとに説明をさせていただきます。

A4の資料1をご覧ください。令和3年度江南区組織目標の取組み結果を
まとめた資料になります。はじめに、一番上の欄の組織の目的、方向性をご
覧ください。江南区役所では、都市的なたたずまいと田園・自然がバランス
よく共存している地域特性や資源を活かすことで、まちの魅力と活力を向上
させるとともに、区民の皆さんの安心安全で健康な生活を守り、笑顔あふれ
る江南区の実現を目指して取り組んでおります。

その下の、江南区組織目標をご覧ください。今ほどの組織の目的、方向性
の実現のため、以前から磨く、守る、活かすの三つの視点により取組みを進
めておりまして、記載のとおり、五つの重点目標を設定いたしました。その
下の評価の欄をご覧ください。重点目標の達成状況としましては、目標数の
6に対し達成数6で、すべて達成という結果になりました。

各項目ごとに、上の重点目標の項目と取組み結果を併せてご説明いたしま
す。まず、重点目標の一つ目が、農業の特性を活かして、さらなる地産地消
の推進を目標としておりまして、取組み結果としましては、コロナの状況に
対応し、家庭での野菜づくりを体験する事業や、農業法人等と協働で地元産
クラフト納豆のブランド化に取り組み、地産地消の促進を図りました。

裏面をご覧ください。目標の二つ目ですが、区の魅力発信の知名度向上を
目標としております。それに関しまして、UIJターンに繋げることを目的
に区内事業者等にご協力いただきまして、県外の大学生等にふるさと江南区
宅配便を送付し、区の魅力発信に取り組みました。

目標の三つ目は、民間活力を導入した公共施設の再編によるコミュニティ

の活性化を目標としておりまして、ウッドショックの影響を受けたものの、曾野木コミュニティセンターの建設工事に着手しまして、指定管理者の選定を行っております。

目標の四つ目ですが、市全体や区の持続的な発展につながる土地利用を目標としておりまして、(仮称) 江南駅の土地区画整備組合設立準備委員会の助言や技術指導を行うなど、計画、整備の促進を図りました。

五つ目は、地域全体で認知症高齢者や子育ての見守り、安心して暮らせる地域を目指すこととしておりまして、見守り隊メールの配信のほか、子育て応援団への登録および普及とともに、区だよりに特集記事を掲載するなど、多くの方からもご登録をいただいております。

六つ目は、除雪体制の効率化により、冬季の交通確保に努めることとしておりまして、排雪所、雪捨て場の中から、曾野木、両川、大江山、横越地区に1か所ずつ排雪所を設置しまして、除雪体制の効率化を図りました。

その下の、今後の方向性ですけれども、令和4年度の組織目標と重なる部分が多いですので、のちほどご覧いただければと思います。以上で、令和3年度組織目標の説明を終わります。

次に、資料1-2をご覧ください。令和4年度の江南区組織目標についての説明をします。A3の資料です。左側に組織目標、右側にその目標達成に向けた主な取組みを掲載しております。組織の目的、方向性は、令和3年度と現行は変わりません。

左側の中ほどの江南区組織目標の重点目標をご覧ください。今年度は、五つの重点目標を設定いたしております。なお、去年は六つあったのですが、今回1項目少ないのは、除雪の項目ですが、課題になっていました雪捨て場におきまして、各地区で設置ができたことと、今年度にロータリー車という雪を飛ばす車の導入を予定しておりますので、だいぶ効率化が進んできたということで、重点目標とはしなかったのですけれども、引き続き取り組んでまいります。

では、表の一つ目です。区民に、より農に親しんでいただくことで、農業への理解を深め、さらなる地産地消の推進を図ります、としまして、右側の主な取組みの矢印の重点目標1をご覧くださいなのですが、「農」に親しむ事業としまして、家族で“栽培から調理まで”を体験する事業や市民の皆様と連携した商品開発など、江南区の農を照会する機会を提供してまいりま

す。

左に戻っていただきまして、二つ目の目標が、区の魅力発信や地域資源を活かした取組みを通して、区の知名度をさらに向上させますとさせていただいております。主な取組み、右側の重点目標 2、「江南区をPR」魅力発信プロジェクトの推進としまして、江南区出身の学生の皆様にふるさと江南区宅配便を送付するとともに、魅力発信動画のコンテストなどを予定しております。

左に戻っていただきまして、三つ目の目標は、民間活力を活かした公共施設の再編を行い、コミュニティ活動の活性化や多世代交流を生み出し、地域全体の活力を向上させます、としました。また右側に移っていただいて、主な取組み、重点目標 3 ですが、曾野木市営住宅跡地等施設整備事業としまして、地域の拠点となるコミュニティセンターの円滑な運営に向けた資源や近隣保育園の跡地の利活用に向けた取組みを進めます。

左の 4 番目の表ですが、市全体や区の持続的な発展につながる計画的な土地利用を図ります、としまして、右側の主な取組みとしましては、重点目標の 4、市全体や区の持続的な発展につながる計画的な土地利用としまして、今後実施予定の市街化区域の選定見直しが今年度予定されているのですけれども、各開発予定者からの改正案の受付のほか、(仮称)江南駅周辺土地区画整備事業などの実績に向けた助言を継続して実施まいります。

右側の五つ目の目標が、地域の中で、認知症高齢者を支援したい人、子育てを応援したい人を掘り起こし、地域全体で認知症高齢者や子育てを見守ることや安心して暮らせる地域を実現します、としました。右側の主な取組みとしましては、5、地域で見守り応援事業としまして、見守り隊メールによる不審者情報や徘徊高齢者に関する情報発信や、「江南区子育て応援団」に登録した方へ江南区親善大使を活用した応援団バッジの配布などを予定しています。以上が、今年度の組織目標です。

続きまして、資料 1-3 をご覧ください。江南区区ビジョンまちづくり計画第 4 次実施計画についてです。こちらは、令和 3 年度の取組みについての概要になります。総括の欄をご覧くださいと思います。表がありますけれども、昨年度の取組み事業数につきましては、再掲を含めまして合計 61 事業を実施いたしました。その内、計画どおり進捗した事業が 50 事業、一部計画どおりの事業が 8 事業、未実施が 3 事業でした。

未実施の3事業につきましては、新型コロナウイルスの関係で、こうなん健幸ライド、フィッシング大会、旬果旬菜いきいきフェスタを中止させていただいたものになります。

総括としましては、新型コロナウイルスの感染症の影響によりまして、一部計画どおり進捗となった事業や未実施事業がありましたが、区ビジョンまちづくり計画で掲げる将来像、緑と調和して賑わいと安らぎのあるまちの実現に向けまして、地域団体や関係機関と連携して取組みを推進させていただきました、と書かせていただきました。

次に、その下の基本方針ごとの主な進捗状況につきましては記載のとおりでございますので、説明も省略させていただきます。また、資料1-4の横の資料になりますが、こちらは各事業の実績が細かく記載してありますので、のちほどご覧いただければと思います。

今後、自治協提案事業などの取組みの参考にさせていただきまして、区役所と地域の皆さん、一緒に課題解決につなげていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○小林会長

ありがとうございました。今ほどの説明で、令和3年度の進捗状況、4年度とこれからの計画ですが、この内容について意見やご質問のある方はございませんか。これは、実際に皆さんが日常生活の中で一番身近に感じることだと思いますので、この辺を忌憚のないご意見をいただきたいということと、できるだけ体制強化をお願いしたいという形で考えておりますが、いかがでしょうか。冊子については、よく読んでご理解いただければと思います。いかがですか。ございませんか。しばらくしてないようですので、令和4年度計画については、この形で始動していただきたいと思っておりますし、委員の皆さんも積極的に応援体制、また各地域でのコミュニティ協議会を通じての活性化という形でご協力いただければと思います。よろしく願いいたします。

4. 報告

(1) 江南区自治協議会各部会からの報告について

○小林会長

それでは、続きまして、部会報告に移らせていただきます。まず、まちづくり部会、畑野委員からお願いいたします。

○畑野委員

両川コミュニティ協議会の畑野です。本日は、部会長が欠席のため、私が代わりに報告させていただきます。

資料 2 をご覧ください。まず、1、令和 3 年度部会の取組み結果についてですが、ほぼできあがってきた曾野木まち歩きマップを確認しながら、昨年度の振り返りを行いました。本日、業者がテスト印刷したものを確認し、印刷は 6 月に行う予定にしております。振り返りの中では、このマップは小学校での総合学習など様々なツールにして活用できること、地元に住んでいてもその地域の魅力には気づかないことが多いこと、作成にあたり曾野木コミュニティ協議会に尽力いただき、また、自治協議会とコミュニティ協議会が連携して取り組んだことは、お互いとてもよい機会となったなどの意見がありました。

次に、2、令和 4 年度部会の取組みの確認についてですが、事務局より、年間のスケジュール案が提示され、引き続き区内の来訪者増に向け、地域の魅力を掘り起こし発信するなど、まちの活性化につながる取組みを行うことを確認しました。今年度は、横越地区のマップの作成を行うこととしております。

意見交換の内容は記載のとおりですが、情報収集しながら、曾野木マップのようにコミュニティ協議会と協力、連携を図りながら取り組むことが必要との意見があり、今後連携を図りながら達成に向けた取組みを進めていきたいと考えております。

○小林会長

続きまして、安心安全部会の山崎部会長お願いします。

○山崎委員

安心安全部会から報告いたします。安心安全部会では、今年度いろいろな支え合いや助け合いの活動事例をまとめたカレンダーを作成しようと、そして広く助け合いについて周知していきたいと考えて、カレンダーの作成をするというところで結論いたしました。地域によっては、地域行事や学校行事などが載っているカレンダーもあるようですが、載せる内容や、どんなカレンダーにするかなどについては、今後の部会で検討していきたいと思っております。

来年のカレンダーとして使えることを目標に進めていきたいと思っております。

ますので、今後どんなカレンダーなのかをご期待いただきたいと思います。

○小林会長

続きまして、環境教育部会の間島部会長、お願いします。

○間島委員

環境・教育部会から報告をさせていただきます。令和4年度の他世代交流“みらい”プロジェクトのスケジュールについて共有いたしました。秋頃に実施したいと考えております。そのあとに、事業について意見交換をいたしました。意見交換の結果、昨年度行ったスポGOMI大会を今年度も開催することとし、開催地域のコミュニティ協議会と連携した事業をしたいと考えています。

資料3をご覧ください。各コミュニティ協議会会長宛の依頼文書になります。詳細はのちほどご覧いただきたいと思います。スポGOMI大会は楽しく地域活動に参加でき、地域もきれいになるということで、参加者からも好評いただいているイベントです。

各コミュニティ協議会の選出の委員の皆様から、コミュニティ協議会の役員会などで、自治協の環境・教育部会から依頼があったということで、開催についてご検討いただきますようお願いいたします。締切についてですが裏面、6月27日の第3回江南区自治協議会の日までに応募いただければということをお願いいたします。

○小林会長

次に、区ビジョンまちづくり計画特別部会の藤田部会長、お願いします。

○藤田委員

資料4の内容になります。第1回区ビジョンまちづくり計画策定特別部会を5月23日に開催しました。ご報告します。

まず、先月の第1回自治協議会本会議の議題にありました、新潟市総合計画審議会の委員推薦について、この特別部会で委員を決定することになりましたので、その件について意見交換を行いました。審議会における女性比率や子育て世代、自治協議会の経験を総合的に勘案し、あちらにいらっしゃる今井麻奈美委員を推薦することに決定いたしました。2秒で決まりました。

次に、区ビジョン基本方針について意見交換を行ったほか、区ビジョンまちづくり計画の策定スケジュールについて共有が行われました。予定としては、8月自治協議会で区ビジョンまちづくり計画のたたき台を提示していた

だき、各部会の意見交換を踏まえ、11月の自治協議会で意見聴取を行うとのことです。その後、パブリックコメントを行い、2月自治協議会で区ビジョンまちづくり計画を報告する予定と聞いております。

区ビジョンまちづくり計画の将来像をより分かりやすく、区民と共有するため、概要版を作成することとし、委員からは江南区の特徴である、水辺に囲まれているということが分かるような地図を掲載してはとか、将来像をイラストで表現したらどうかといった活発な意見交換がなされました。委員からは、写真の質へのご意見も多くあがりましたので、各所属で日ごろより計画に掲載することを意識して写真を撮影していただきたいと思います。今回は、6月に特別部会を開催する予定です。

○小林会長

続きまして、最後に、総務特別部会から。私から報告させていただきます。

5月20日に令和4年度第1回総務特別部会を開催いたしました。まず、自治協議会アンケートについてですが、第8期が1年を経過しましたので、今後の自治協議会の運営、また活性化を考えていくために、皆さんからのアンケートを実施したいということでございます。

次に、ホチキス止めになっておりますが、江南区自治協議会のさらなる活性化に向けたアンケートということでございます。

それともう一つ、二つ目として、自治協議会委員研修ですが、これは昨年まちづくり部会で作成している曾野木地区のまち歩きマップができることや、7月に曾野木コミュニティセンターが開設されるということから、曾野木をメインにした研修を事務局で検討してもらおうことといたしました。マップも新しく整備されますので、日程は秋ごろに半日程度で予定しておりますので、決まり次第、また皆さんにご案内をしたいと思っております。

アンケートにつきましては、ここに記載してありますが、もれなく内容をお書きいただきまして、事務局に提出いただければと思っております。締切は、6月9日ということでございますので、間違いなくお願いしたいということです。

今、各部会から縷々説明をいただきましたが、この内容等について、皆さんからご意見やご質問をお伺いしたいと思いますがいかがでしょうか。本日も、このあと部会がございまして、各部会の皆さん、いろいろと内容を綿密に打ち合わせする必要があるかと思いますが、全体にほかの部会で何かこ

ういったことを聞きたいというようなご意見がありましたら挙手をお願いしたいと思います。

○今井委員

質問ではないのですけれども、先日の区ビジョンまちづくり計画策定特別部会の雰囲気がとてもよかったので、お話をしたいと思います。

7人の委員がいるのですけれども、このとき、すごくみんなで楽しく、深くわいわい話しながらいたのですけれども、すごくよかったと思ったことが、だれかが発した意見に対してだれも否定することなく、それいいとか、もっとこんなこともできるかもとかそういうふうになんかすごく前向きに意見が展開して行って、どんどんアイデアが膨らんで行って、多分井上さんはまとめることがすごく大変だったのだろうと思うのです。

そういうふうに、会議とか話し合っていて固いイメージがあるかと思うのですけれども、やはり活発になればなるほどどんどんいい意見が出てくるし、どんどん新しいアイデアも生まれてくるし、自治協議会はすごくいろいろな方たちが集まっていて、そういうアイデアが本来だったらすごくたくさん生まれる場所だと思うので、意見交換のときとか、みんなでお話をするときに、いいね、いいねとか否定したりせずに、そういう意見もあると受け止めながら話がしていけるとすごくいいのだろうということを感じたので、共有したいと思いました。

そして、私はよく部会でも、ホワイトボードに話していることを記録したりしているのですけれども、昨年度から井上さんが、今井さんがいつもやってくれているからということで自主的にペンを持って、ホワイトボードに向かってくださるようになって、だれかのそういう姿を見ると私はすごく感動するのですけれども、そういうふうがいい刺激を受け合いながら、いい話し合いができる場所にどんどん自治協議会がなっていったらいいと思います。

○小林会長

意見、ありがとうございます。たしかに、今井さんがおっしゃるように、お互いの意見を本当に真剣にぶつけ合えば、自ずからいい結果が生み出されると思います。別に、これを言ったからまずいのではないとか、これを言ったから恥ずかしいのではないかというような考えを捨てて、もうざっくばらんに腹を割って話をしていくということがやはり一番かだと思いますので、皆さんも全体会議、各部会の会議、そういったことも考慮しながら考えなが

ら、進めていっていただければと思っております。

そのほか、何かございませんでしょうか。その他、いいですか。

○山崎委員

大江山コミュニティ協議会の山崎です。質問とういのかお願いになるかと思うのですが、コロナ対策のことについてです。前に、こういう冊子が出ましたよね。これから先はもう出ていないのですが、どこのコミュニティ協議会や自治会でも困っているのだと思うのですが、最近は特にマスクのところとか、外国人の受け入れとか緩和されているのかという話も見えてきているのですが、はっきりとしたら、もう少し具体的な指針が出てこないかということがお願いの一つです。

それ以上に、現場から話が上がってきているのですが、一応行政とコミュニティ協議会と話し合いができるような場を設けてもらえないかと、提供していただけないかというような話が出てきました。例えば、イベントですとか会議とか飲食の前の会議もそうだったと思いますけれども、そういったところでどこら辺まで大丈夫なのかという、具体的な話ができるような場を何とか提供していただきたいというお願いですが、いかがでしょうか。

○小林会長

今後徐々に緩和されてきていると思いますが、今、山崎委員からの質問、松屋課長よろしいですか。

○松屋地域総務課長

まず、感染対策に関して緩和はされてはきていますが、あくまでも距離が離れていたり、会話をあまりしない場所ですとか、やはり基本のマスクをして、換気をして、いわゆる三密ですか。というようなことは変わらないのだと思います。そのうえで、ある程度の距離が取れるといった形で緩和をしておりますので、そこを勘案してやっていくしかないのかと。やはり、国もはっきりとこうだと言い切れていない部分があって、我々が噛み砕くと、基本はマスクをして距離を取って喚起をするということだと思っています。

○山崎委員

私もよく分かるので無理だと思うのですが、どちらかというと私は、例えば自己責任でどうぞくらいのところまで突っ込んだ話ができればよいと思うのですが、いかがでしょうか。

○松屋地域総務課長

行政側からですと、自己責任だったらいいですとは、とてもとても言えないです。やはり、後遺症の問題があったり、かからないことが大事なことだと思うので、そのうえで、ワクチンについては今度 60 歳以上は 4 回目をどうですかとかそういったことが行われていますので、おっしゃることは非常によく分かるのですけれども、行政としては感染対策を十分取ったうえで。

もう一つ、具体的な話し合いの場ですけれども、改まって場を設けることも何か疑問の点があれば、それぞれ所管の課にお問い合わせいただければ随時、ご相談に乗りますので、いつでもご連絡をいただきたいと思います。

○小林会長

山崎委員、それでよろしいですか。

あと、新しい区独自のマニュアルとか何とかいうものは必要ないですか。

○山崎委員

できれば、私は指針というものを示していただければ一番ありがたいのですけれども、課長のおっしゃるようなところで落ち着くのかとは思っています。現場からの声として、先ほども申し上げましたけれども、やはり担当をされる行政の方たちと、もうある程度話し合いの場を設けて、そこでどこまでいいのかというような、お互い様の話になるかもしれませんけれども、そういった話がお互いに簡単にできるようなそういった形が取ればいいのかと思いますけれども、いかがでしょうか。

○松屋地域総務課長

そういうご要望があるのであれば、いつでも各所管にお話をいただければ、そういう場を設けてお話し合いをするということだと思います。プラス、ガイドライン的なものについては今、各イベントだとかスポーツだとかそういったものが関連の団体がガイドラインを作り初めているような段階にきているようなので、その辺が出揃ってくると、行政としても、それを参考にしながらみたいな形も取れるのかと思っていますけれども、もう私も専門家ではないので、細かいところまでよく分かりませんが、保健所にも聞いてみたいと思います。

○山崎委員

お願いします。

○坂井区長

区役所のやり方も同じで、これができるかどうかということも1件ずつ考えながらやっている、どこも同じような状況ですので、少しは役所のほうが情報はもしかしたらあったりするかもしれませんが、松屋が申し上げたとおり、相談をぜひしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○小林会長

たしかに、各コミュニティ協議会はこれからいろいろな形で運営されて行事をやる中で当然、また今の話がまた盛り返してくることもあるかと思いますが、それで各部会でよくなるよう話し合いながら、また区と照会しながら事を進めていただければと思います。

ほかに何か質問は。伊藤委員から先に。

○伊藤委員

その他ということでお話をさせていただきます。私は、亀田縞利用促進協議会の委員もやっております、本日の午前中に協議会があったのですけれども、今日は昨年度事業の報告、本年度事業の計画の話し合いという形で行われたのですが、その中の意見で、昨年度の事業の中にチャレンジ事業ということで亀田縞を利用したことを提案してもらって、それに対しての補助、助成をするという形で、市の体育館のスタッフが亀田縞のユニフォームを作って、今現在着て活動をされているということで、利用者の方も「こういうものがあるんですね。どこに売っているのですか。」みたいな話もあったそうです。委員の中では、ぜひそういうものも協議会として進めていくことがいいのではないかと話がありまして、例えば、自治協議会の中でもポロシャツですか。ユニフォームを作ったりされているわけですから、例えば、今年度とはいう意味ではないですけれども、今後そういうユニフォームのようなものを作るときに、ぜひ亀田縞を利用したユニフォームなどを作っていたらいいのではないかと。そして、各コミュニティ協議会でもユニフォームもあるでしょうし、例えば何でしょう。みんなで使う、例えばストール、マフラーみたいなもの。みんなで共有して使うようなものを、ぜひ亀田縞を利用していただいたら、亀田縞が江南区としても広く認知され、さらに新潟市の産業の宝として広く認知されるのではないかと思いますので、ぜひ利用していただきたいということを、この場をお借りしてお伝えしたいと思います。

今日は、所管の産業振興課の課長もいらっしやっていますので、何かあつ

た場合は、ぜひ産業振興課もしくは利用促進協議会にお声掛けをいただければと思います。

○小林会長

産業振興課長、何かありますか。

○塚本産業振興課長

ありがとうございました。

○小野委員

昨日、江南区文化会館の拝野館長も来られていますけれども、自治協議会のメンバーからも私、また今井麻奈美委員、間島由夏委員、先ほどの塚本委員と、加えて大江山コミュニティ協議会の比企委員と前に自治協議会にいらした方の5名で、江南区文化会館の今年の事業、どんな感じのコンサートであるとか、ライブだとか講演だとかいろいろあるのですけれども、選考する一次審査が終わって、選ばれた上位3組のプレゼンテーションをもって審査をさせていただきました。

その中では、内容、結果を言うことが守秘義務の関係もございまして、6月3日に江南区のホームページで知らせるといふものがあるものですから、今この結果を言うことができないということが心苦しいですが、その中では、江南区に根ざした先ほど伊藤委員からも話がありました亀田縞のファッションショーみたいなものを、プレゼンテーションの中でもしこんな利用促進もできるのだというヒントがありました。北方文化博物館を利用したイベントを絡めてありますとか、また江南文化会館自体の魅力を、来てもらおうというふうに触れるような試みがある、本当に江南区に合わせてくるような事業がたくさんありまして非常に悩み、選考に苦勞したのですけれども、一つ選考されましたので、結果が言えなくて大変心苦しいのですが、成功をさせていただきましたのでご報告申し上げます。

○小林会長

ありがとうございました。ここの活動、展開に期待したいと思います。よろしくをお願いします。

ほかに、何かございませんでしょうか。なければ、事務局にお返しいたしますがよろしくお願ひいたします。

5. 連絡事項・その他

○事務局

ありがとうございました。事務局から、今日の部会の開催についてご連絡をさせていただきます。

このあとの本会議終了後に、今年度第 2 回目の部会を開催いたします。まちづくり部会の委員の皆様は、入札室になります。次に、環境・教育部会委員の皆様は、301 会議室をお願いいたします。安心安全部会委員の皆様は、この会場をお願いいたします。お手数ですが、移動の際は、自分の名立てをお持ちになって移動をお願いいたします。

6. 閉会

○事務局

本日、予定されていましたが議事はこれで終了いたしましたので、閉会いたします。

次回、令和 4 年度第 3 回目の自治協議会委員会は、6 月 27 日月曜日、曜日が違ってはいますが、6 月 27 日月曜日の午後 1 時 30 分からの開催となります。会場は、お隣、江南区福祉センター 2 階の多目的ホールとなります。お疲れ様でした。